



三友環境総合研究所

Annual Report 2022

2022年度 年次報告書



三友グループは SDG s に取り組む
企業様・行政様と共に活動を推進します

私たちの考え

三友グループのコーポレートスローガンは「**環境と資源を守る**」です。

三友グループは2018年に70周年を迎え、「廃棄物に対する目線を未来に。」を新たなブランドコンセプトに据えました。「廃棄物を単なる廃棄物として見ていない」「廃棄物活用の無限な可能性に賭けている」「未来の環境と資源は視点と発想から変わる」のメッセージを発信させて頂いております。2030年に向けたSDGsの活動への取り組みが、各企業・地方自治体・個人において活発化してきています。これらの背景から三友グループでは、優れた技術やノウハウを持つパートナー企業様と一つの共同体として共存共栄していくエコシステム実現を目指し、2020年に「三友環境総合研究所」を立ち上げました。

環境領域には幅広い分野があります。当グループのお取引のある企業様は約4千社（8千事業所）になり、各業界との接点をもっています。当然、お困りごとは様々で、三友グループは「なんとかしてあげたい」の気持ちで、あらゆる課題に全力で取り組んでいます。これらの課題解決への対応にあたってはパートナー企業様と一緒に取り組むことで解決した事例が多数あります。このような事からも、 $1+1=2$ ではなく、 $1+1$ が10にも100にもなる取り組みを目指します。「**新しい価値を創造する**」取り組みをパートナー企業様と一緒に実現してまいります。

1.2022年度 活動概要

★東金市・スターバックス コーヒー ジャパン 三者間協定締結

三社間協定は、東金市における持続可能な循環型社会の実現と地域の活性化及び市民サービスの向上を図ることを目的としています。

[詳しくはこちらをクリック（包括連携協定）](#)



★川崎工場 資源循環プラント アミタ(株) との協業発表

アミタ(株)と業務提携契約を締結し、企業から排出される廃棄物の100%再資源化事業を拡大することで合意しました。

[詳しくはこちらをクリック（アミタ 協業）](#)



★スターバックス 道の駅みのりの郷東金店 OPEN

6月1日（水）、千葉県東金市の道の駅「みのりの郷東金」に「スターバックス コーヒー 道の駅みのりの郷東金店」をオープンしました。この店舗は、スターバックスが世界自然保護基金（WWF）と共同策定した、二酸化炭素（CO2）や、水、廃棄物を削減し環境に低負荷な店舗づくりを進める国際認証「Greener Stores Framework」の国内2号店で、国内での認証店舗の拡大に向けたベースとなります。この店舗でのラーニングから環境負荷低減を目指し、サステナブルな未来に向けた取り組みのモデル店舗です。

[詳しくはこちらをクリック（東金市における三友の取り組み）](#)



1月

2月

★オープンイノベーションマッチングスクエア ピッチイベントへ参加

経済産業省関東経済産業局主催のオープンイノベーションプログラムへ今年も参加しました。カーボンニュートラルというテーマからニーズを発信し、35社の応募を頂きました。

[詳しくはこちらをクリック（OIMS）](#)



★アールプラスジャパン分科会活動本格化

プラスチックの再資源化に向けた分科会が発足されました。新しい回収スキームの構築を目指し、今まで回収されていないプラ容器や食品トレの店頭回収、工場から廃棄されるプラスチックの回収のテーマに取り組んでいます。

[詳しくはこちらをクリック（RPJ）](#)



4月

★ダイヤモンド社『レガシー・カンパニー 6』へ掲載されました

『レガシー・カンパニー 6 ～世代を超える永続企業 その伝統と革新のドラマ～』（発刊：ダイヤモンド社／編集：ダイヤモンド経営者倶楽部）に、三友プラントサービスが掲載されました。

[詳しくはこちらをクリック（レガシー・カンパニー）](#)



6月

★"資源循環アプリ"千葉県東金市導入

6/15にリリースしました。12月末現在、繋がり人数3,300人越え！世帯数シェア12%となりました。環境イベントを通して更なるユーザー登録を目指します。

[詳しくはこちらをクリック（東金ごみアプリ）](#)



★三友グループセミナー 2022開催

農林水産省 長野麻子様(当時)に「食」をメインテーマにSDGs・食品廃棄物問題・政府主導プロジェクトなどのご講演をしていただきました。

[詳しくはこちらをクリック（三友Gセミナー）](#)



7月

★循環経済パートナーシップ(J4CE)へ参加



循環経済への理解醸成、取り組みの促進を目指す、日本の官民一体のパートナーシップ「J4CE（循環経済パートナーシップ）」に参加登録しました。

[詳しくはこちらをクリック（J4CE）](#)

★BioJ（バイオ J）設立



株式会社Biomaterial in Tokyoと開発を進めてまいりました国産第二世代バイオエタノールを原料とするSAF事業を統合し、共同で事業を実施していく強力なプラットフォームとして株式会社BioJを設立しました。

[詳しくはこちらをクリック（BioJ）](#)

1.2022年度 活動概要

★NPO法人AlonAlon事業会社への出資

8月



障がい者の自立支援を行うNPO法人AlonAlonを運営していますA&A株式会社の第三社割当増資に対する出資しました。

[詳しくはこちらをクリック \(AlonAlon\)](#)

★バイオジェット燃料生産技術開発/サプライチェーンモデル構築の助成事業へNEDOより認定

NEDOの公募にBioJの「パルプからの純国産バイオジェット燃料の一貫生産およびサプライチェーン構築実証事業」が採択されました。

[詳しくはこちらをクリック \(BioJ NEDO\)](#)

9月

★顧客マスタ登録電子化

これまでお客様にご記入頂いていた「お客様 登録票」を電子化しました。企業データベースとの連動により、お客様の情報を常に最新の状態を保持します。

★川崎工場 資源循環プラント 開所

三友Gの技術にアマタ(株)の技術力を加えた、産業廃棄物再資源化施設を開所しました。関東エリアにおける循環市場の拡大及びサーキュエコノミーの推進を目指します。



[詳しくはこちらをクリック \(資源循環プラント\)](#)

★“資源循環アプリ”東京都渋谷区導入



渋谷区は7月から「プラスチック」の出し方が「可燃ごみ」から「資源」として回収する事がスタート。回収方法の変更に伴い、区民への情報発信ツールとして既存LINE「ごみ」機能から切り替えとなりました。

★「2022年度 環境・社会報告書」発刊

10月

三友グループの「2022年度 環境社会報告書」を発刊。今年も内容・構成・デザイン・イラストまで自社制作しています。

[詳しくはこちらをクリック \(環境・社会報告書\)](#)



★緑産の三友グループ会社化

株式会社緑産の株式を取得し、三友グループのグループ会社化しました。コーヒー豆かすを使った培土の生産から農法指導まで行っています。今後はグループの一員として、お客様へSDGs活動への取り組みなどを強化して参ります。

[詳しくはこちらをクリック \(緑産\)](#)

11月

★食品リサイクルループ認定



デニーズを運営する株式会社セブン&アイ・フードシステムズ [こちらをクリック](#) とのコーヒー豆かすの食品リサイクルループ認定がされました。[\(デニーズ\)](#)

★SAIKAI PROJECT 英国雑誌Tea&Coffee Trade Journalに掲載

[こちらをクリック \(T&C\)](#)

12月

★アールプラスジャパン 廃プラ回収実証実験

アールプラスジャパンとしての初の回収実験を道の駅みのりの郷東金で行いました。参画企業のカルビー様・日清オイリオ様とともに現在回収されていない、菓子袋と調味料ボトルの回収を行いました。

[詳しくはこちらをクリック \(RPJ 東金実験\)](#)



★リモート工場見学会 本格化

三友グループ
FACTORY TOUR
Webによる工場見学

昨年末にスタートの“リモート工場見学会”今年へ300名を超える方にご参加頂きました。



		申込企業数	申込人数	視聴企業数	アクセス数
第2回	1月28日	18	36	18	32
第3回	2月25日	11	27	11	23
第4回	3月25日	13	21	11	18
第5回	4月28日	7	14	7	11
第6回	6月20日	35	89	35	89
第7回	8月26日	16	35	15	34
第8回	10月28日	52	120	延期	
	11月25日	26	37	28	39
第9回	12月21日	55	126	54	85
計		181	385	179	331

★メールマガジン配信

20年より配信しているメルマガをバージョンアップしました。上旬に環境コラム、中旬におすすめ商材のご案内、下旬に廃棄物知識特集（排出事業者様向け）をお届けしています。



■2022年に配信したメールマガジンリスト■

SANYU通信			おすすめ商品			FACTORY TOUR		
配信日	NO	内容	配信日	NO	内容	配信日	NO	内容
1/6	31号	年始のご挨拶	1/17	8号	スマートバブータフバブー	1/26	4号	分析室
2/8	32号	東金市・スターバックス コーヒー ジャパン株式会社との取り組み	2/14	9号	半水石膏固化材	3/30	5号	廃棄物の「受入れ」
3/14	33号	プラ新法	3/22	10号	Onebox	4/26	6号	廃棄物の「焼却処理」
4/12	34号	Z世代	4/18	11号	ぼうじん君 サニーキーパー	8/31	7号	廃棄物の「処理副産物（排ガス）」
6/27	35号	三友グループセミナー 2022	5/27	12号	アシストスーツ	10/25	8号	廃棄物の「処理副産物（排水）」
8/9	36号	持続可能な航空燃料 (SAF)	7/4	13号	道の駅みのりの郷東金に おける再生可能エネルギーへの取り組み	12/21	9号	廃棄物の「処理副産物（焼却灰）」
11/1	37号	2022年 環境・社会報告書	7/13	14号	クラブピア			
12/7	38号	プラスチックのリサイクル	7/20	15号	SAIKAI PROJECT			
12/28	39号	Annual Report	7/26	16号	「ごみ分別アプリ」や商材 サービスのまとめ、今後の展開			
			10/3	17号	肥料・培土			
			11/30	18号	携帯用アルコール			
			12/14	19号	ビジネスの力で社会課題 を解決する			

▶▶▶ [メルマガバックナンバーはこちらをクリック](#)

2.2023年に向けて

事業内容から活動計画

商事事業 (卸売・販売企画)	商材販売	- SDG s 関連商材の拡充 - カーボンニュートラルへ向けた関連商材の拡充 - 技術商材を持つパートナー企業の開拓と提携
	リサイクル構築	- 食品リサイクルの循環型の仕組み構築（グループ会社 緑産との連携） - 廃プラスチックの循環型の仕組み構築（アールプラスジャパンとの連携）
	システム	- OEMシステムの開発と販売（廃棄物トレーサビリティ・ごみ分別アプリ・統合ファシリティ管理） - 自社内 基幹システム開発 と 廃棄物処理業におけるデジタル化推進 - 産業廃棄物データプラットフォーム構築に向けた活動開始
コンサルティング	循環型社会の実現へ向けて	2050年カーボンニュートラルの実現に向けた企業様や自治体様への提案と実行 - 自治体への持続可能な廃棄物処理提案活動
	人材	- 環境知識、感度向上に向けたプログラム開発 - 安全・衛生などIT技術を使ったプログラム開発 - 三友グループ内人材育成
	助成金 補助金	申請手続き支援
新しい情報	発信・収集	- ホームページ、メルマガ、講演会 など拡充 - 環境社会報告書などの定期情報発信 - リモート工場見学会の開催
	研究開発 イノベーション	- アクセラレータープログラムの推進と実行 - 事業化に向けた Research & Development の実行 - 新しい技術の発掘や業務提携、出資などの検討と実行口

会社概要

22/12/28 Ver1

会社名 株式会社 三友環境総合研究所
本社所在地 〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台1-8-14
創立 昭和49年2月18日（※令和1年12月1日 七生総業株式会社より社名変更）
代表取締役社長 小松 和史
代表取締役副社長 小松 稔明
常務取締役 山本 収三
取締役 小松 順子
取締役 小松 源
執行役員経理部長兼購買部長 矢島 節子
執行役員サステナブル・イノベティブ・デザイン事業部長 増田 光彦
執行役員経理部長 原田 益至
理事 生越 正広（和光テクノサービス株式会社）
理事 平松 豊一（株式会社ユニオンサービス）
理事 渡辺 正人（SPEC株式会社）
理事 田邊 陽介（株式会社環境と開発）
アドバイザー 熊倉 良一（一般社団法人バチルス普及推進機構）
アドバイザー 加藤 英司（株式会社グローウィン・コンサルティング）
アドバイザー 井ノ瀬里佳（一般社団法人グリーンビューティージャパン）

お問い合わせ

株式会社 三友環境総合研究所 事務局 増田・栗原・白川・阿部
【TEL】042-773-1431 【FAX】042-772-3941 【メールアドレス】info@sanyusoken.com